

2017年4月紹興・深圳世界大会参加報告

2017年4月28日
熊澤壽人

日時 2017年4月10日～18日
場所 紹興市、深圳市

【1】2017年紹興市世界専門家組織プロジェクトフェアー

日時 2017年4月12日（水）

場所 紹興ミラーレイクホテル会場

参加者 日本技術士会 海外活動支援委員会 鈴木陸夫、熊澤壽人

概要

午前：開幕式 世界70か国以上が招待され関係者の挨拶や関係者のスピーチが行われた。この後、技術士会と国家外国専門家局の関わりについてのスピーチが求められ熊澤が説明。

更に、国家外国専門家局張建国局長より IPEJ が感謝状を授与



開幕式



IPEJ が感謝状授与



感謝状

午後：専門家と中国の企業との交流会

各国機関ごとにブースが準備され殆ど1名と学生ボランティアの通訳1名の計2名で対応していた。我々技術士会は2名と通訳の3名で対応。当初名刺交換をしていたが後半来訪者カードに記入してもらう形式にした。来訪件数は10数件位で、あまり多くはなかったが、需給票は数多くあった。関係ありそうなものを選別する必要がある。



会場風景



技術士会ブース

13日は市内観光が行われ、ホテル近くの公園と遊覧船での観光が行われた。

【2】深圳世界専門家大会

日 時 2016年4月15日-16日



技術士会のブースは角地に2コマと好条件の場所であった。会場への来訪団体は100以上の機関となり来訪人数は400人を超え、対応が非常に忙しかった。自費で参加した隆盛コンサルタントオフィスの顧静氏が対応を手伝ってくれ、手際よく進めることができた。日中協会から昨年の通訳も手伝ってくれると言っていたが日中協会も忙しそうで、手が空いたら手伝ってもらおう事とした。

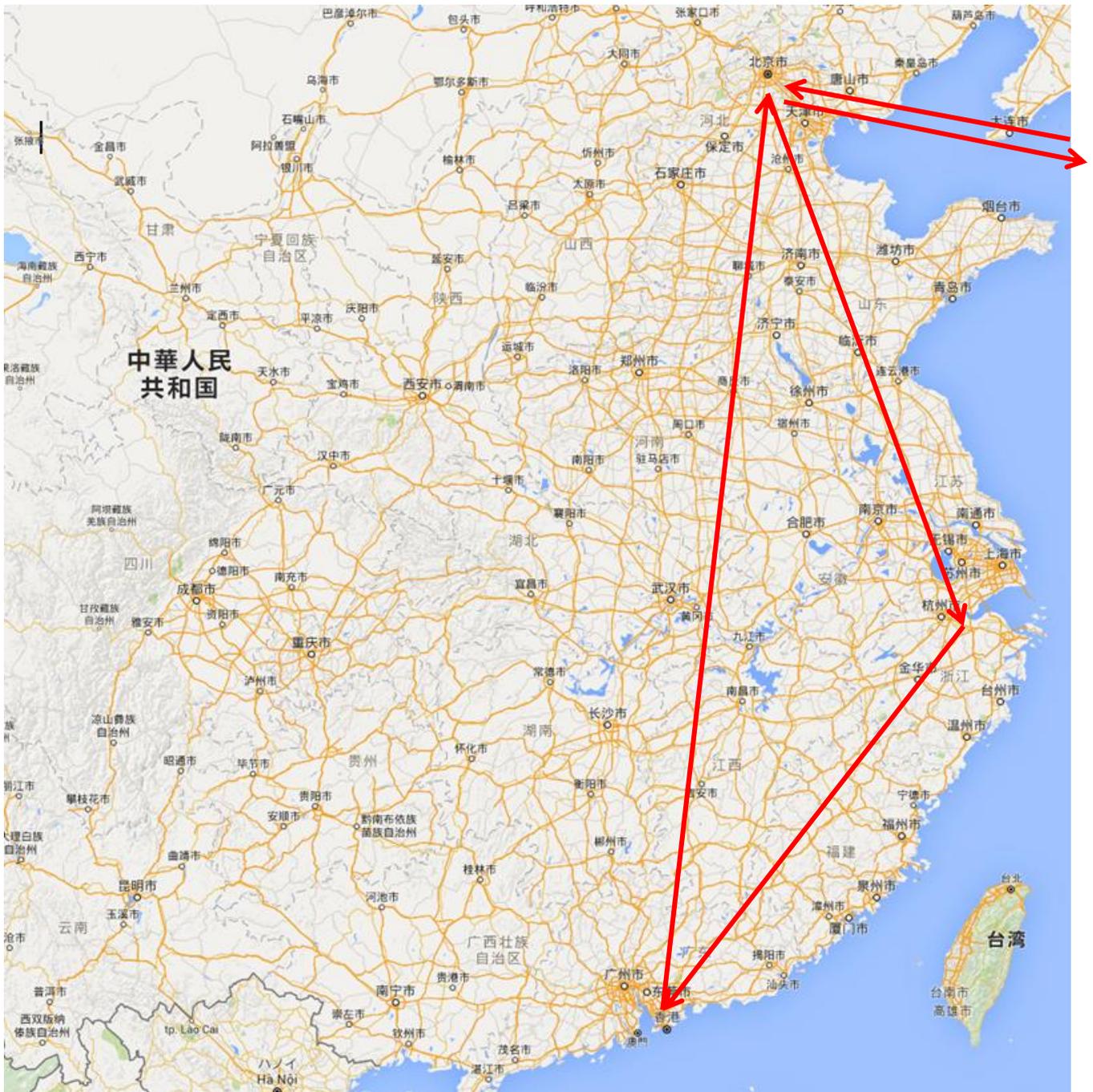
16日午前中に突然技術士会の説明スピーチを依頼され、専門家局曾処長の同時通訳で行った。

彼は宁波市と専門家局訪問時面会し塩城市と交流を仲介した。



収集した需給票は訪問リストに記述した会社を中心に、内容を見極め関係ありそうなものを技術士に発信したい。現在顧さんに日本語訳をお願いしている。
他、日本シルバーボランティアの荻野健一氏や日中協会の何宣動氏、日中専門家協力促進会楊嘉麗氏、西沢和民氏にも大変お世話になった。

飛行経路概略



東京→北京→紹興→深圳→北京→東京と 7000Km 余りの距離を回った。
都市間の移動は全て飛行機なので移動した感覚はないが、各地気候の違いを感じた。

10日 羽田→北京

北京宿泊ホテルは国家外国専門家局大廈。
2009、2016年に訪問した時と同じ。
北京オリンピックの鳥の巣の近くに有る。
現在記念公園となり、観光客で賑わっている。



11日 北京→紹興

北京から杭州へ飛行機で移動し、そこからバスで紹興のミラーレイクホテルに移動。
夏鳴九新副局長参加の国家外国専門家局主催晩餐会が
開かれ、招待者全員が集まった。大きな丸テーブル9ヶ
が用意され関係者及び地区毎のテーブルとなった。
夏副局長は陳化北元総代表の前に日本の総代表を勤め
ていたとの事で日本語が上手であった。
秋頃宁波市と交流会を開いたらどうだとの話もあった。
夜、数名で街に出て、魯迅の旧家等を訪ねた



12-13日 紹興

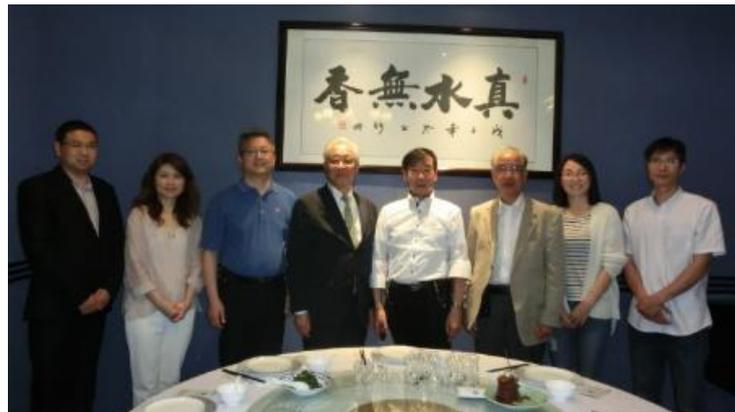
紹興プロジェクトフェア2日目の市内ツアーはホテル近くの庭園であった。



15-16日 深圳

海に近く蒸し暑さは日本の夏と同じ夜、通信会社の社長が夕食に招待してくれた。この業界は技術者の指導が必要であるとの事で有ったが、どのような技術者が必要かは、今後の課題であるとの事であった。

中国の社長は、必要性を感じると先ずは学者や技術者を集めて議論したいと考えているようである。



17日深圳→北京

北京来訪中に李躍民元総代表と国家外国專家局元副局長孫照華氏とお会いする機会が有った。

鈴木副委員長と4名で会食。

当初予定の宿泊ホテルが変わり、十数キロ離れた場所、タクシーで会食会場に行くことになった。

孫元副局長は、これからも今までの人脈を活用して企業との交流を進めてもらいたいので技術士会の協力もお願いしたいとの事であった。



18日 北京→羽田

朝6時ごろ天安門広場を散歩した。深圳とは気温も違い、少々肌寒く手袋が必要な感じ。

朝早くから中国人観光客が広場1/3程度を埋め尽くすほどの人・・・人・・・人。

厳重な警備と柵で通行場所を仕切っていた。



9時に專家局の車で飛行場に向かう。第二ターミナルでヨーロッパ人を降し、我々は第三ターミナルへ向かった。第三ターミナルは第二の隣と言う感じではなく別飛行場と思えるくらい遠いと感じた。北京空港は現在工事中で滑走路が1本。着陸と出発を交互に行っていて出発まで約2時間遅れだった。

今回は最初から最後まで雨に合う事もなく天候に恵まれてよかった。



この光景を見ると毎回想うのは、あ〜日本だ。

以上